

# OMNIBUS

大阪医科大学図書館報 / 大阪医科大学附属看護専門学校図書室報

C O N T E N T S

図書館で良書に出会う〔朝日教授〕	2
リベラル・アーツへの道—アメリカ留学とその後〔中川准教授〕	3
想像力が膨らむ読書〔高橋裕美〕	4
新しい「大阪医科大学図書館オンライン雑誌一覧」のサービスについて	5
本学教職員著作寄贈	7
図書館利用状況	8
お知らせ	9
看護学部設置に伴う図書資料整備計画について	10
図書館業務日誌	11
編集後記	12



和紙人形

## 図書館で良書に出会う

朝日通雄

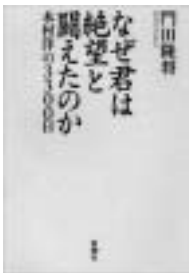
5月21日に裁判員制度が導入された。読者の皆さんはそれをどう捉えているのだろうか。陪審制を取り入れている国は欧米諸国を中心に多く存在し手本になると思われるが、不安に感じている方も多いのではないだろうか。また、なぜわが国でもこの制度を導入することになったのかと疑問に感じている方も多いのではないだろうか。そういう方々に目を通して頂きたい本がある。昨年たまたま図書館で借りて読む機会があり、裁判員制度導入の意味を考える上でもお薦めの良書なので、是非ご一読頂きたい。

“裁判官が日本を滅ぼす（門田隆将著）”



最初、裁判に関する本だから少しつまみ読みして返そうかと考えていたが、予想に反して一気に読んでしまった。現行の裁判に対する痛烈な批判が描かれている。実際にあった裁判の判決に至るまでの経緯が克明に記述され、裁判長の実名を記載した上で判決の不当性を暴き批判している。国民には理解のできない現行制度での判決、これが裁判員制度の必要性かと納得させられた。

“なぜ君は絶望と闘えたのか（門田隆将著）”



同じ著者でもう一冊借りた。これは偶然ではなく著者名で検索して予約した本で、もっと読んでみたいと思ったのである。これも内容に引き込まれ一気に読んだ。テレビ、新聞で度々取り上げられてきたのでご存知の方も多いと思うが、光市母子殺人事件についての衝撃の記録である。最愛の妻子が殺害された本村洋氏が不当な判決と戦い、死刑判決を得るまでの9年間の苦悩、怒り、そして亡き妻子への愛情を描いたルポであるが、ここにも現行の裁判制度への痛烈な批判があり、なぜ制度を変更する必要があるのかをうかがい知ることができる。

どちらも良書である。良書は読者が主観的に判断するものだが、少なくとも私にとっては良書である。私がこれらの本に出会ったのは図書館で借りた本の乱読がきっかけである。図書館というところはよく利用しているとたまに良書と出会うことができる。とは言っても、私が図書館で本を借りるようになったのには取るに足らない別の理由があった。気分的な税金対策である。国民は収入を得ると所得税以外に市民税を払わなければならないが、私は吹田市民なので、高額（??）の市民税を吹田市に納めている。正直なところ大した額ではないが、何に使われているのか、有効に使われているのかと考えると、払うのが憂鬱に感じていた。そこで、身近な市民サービスに積極的に参加することで市民税の自分への還元というものを目に見える形にしようとして考え付いたのが本の購入費用を浮かせて図書館で本を借りるというものであった。数年前から始めたが、最初はあまり借りていなかった。しかし、購入するのとは違い‘面白くなければ読まずに返却すればいい’という気楽さからか、知らないうちに読むジャンルが広がり必然的に読む冊数も増えていった。今年は100冊を越える勢いで本を借りて読んでいる。そのお陰で、今では‘こんなに無料で本を読ませてもらっているのだから市民税も仕方ない’と思えるようになった。税金を有効利用しているという気持ちが常にあり気分がいい。図書館で借りたら、もう一度読みたくても手元にないので不便だと考える方もおられるかも知れない。だが、物事は考えようである。図書館を自分の巨大な書棚と考

え、自己管理すればいい。私は読んだ本に対して自分なりに評価し記録している。その中でいつかもう一度読みたいと思ったときにつけるA評価の良書は、いつか読みたくなったときに図書館で再度借りて読めばいつでも再会できるのである。家計が助かるうえに、狭い日本の家で本棚を増やす必要がないので逆に魅力的と考えることもできる。これからも新たな良書に出会い、そして再会するために、図書館を大いに利用するつもりである。

(あさひ・みちお 薬理学教授)

## 書評

### 『リベラル・アーツへの道 —アメリカ留学とその後—』

2008年 麻田貞雄著 晃洋書房 (3,000円+税)

中川一成



「大学改革」という言葉を初めて耳にしたのは、果たして何時のことだったろう？ まだ学生だったのか、もう教師になっていたのか、今となっては判然としない。本学に勤務しはじめて間もない頃、「医学教育」ワークショップに参加したことは今でも覚えているが、日々の仕事をこなすのに精一杯だった新米教師には、正直なところ、一体何が問題になっているのかさえ、よく分かっていなかったのである。

「改革」されるべきは制度なのか、教育の中身なのか、それとも教授法か？ おそらく、そのすべてだろう。しかし、これほど「改革」が叫ばれていながら、その成果についてはどうなっているのか？

学部の改変や改組、カリキュラムの見直しは、どこの大学でも行われた。十年前のカリキュラムを後生大事に守っている大学など皆無であろう。だが、「改革」は学生の学力向上に寄与しただろうか？ 日本の「改革」論議の分かりづらさは、誰のための「改革」なのかという問題が、至って不明瞭な点にある。学生が身につけるべき学力に関する議論が十分に深まっていないのである。

『リベラル・アーツへの道 —アメリカ留学とその後—』の著者、麻田貞雄氏は、アメリカで高等教育を受けたアメリカ外交史の専門家である。高校卒業後に渡米し(1954年)、博士号取得までの九年間をアメリカで過ごした麻田氏が、帰国後「逆カルチャーショック」に見舞われた事情は、本書に詳しいので、省略する。しかし麻田氏が日本の大学教育を痛烈に批判していることは、本書執筆の意図とも関わると思われるので、あらかじめ断っておく必要がある。

「本書は「リベラル・アーツ讃歌」である。翻ってわが国における大学の多くを眺めれば、教養教育の基本を等閑に付して、学生獲得のために人目を引くだけの改組改変に汲々としているのが実情である。日本の大学教育を根本的に改革するためには、アメリカのリベラル・アーツの理念と実践から学ぶことが焦眉の急であろう。」

リベラル・アーツの「理念と実践」を麻田氏は自身の経験に即して紹介している。リベラル・アーツ教育の名門カールトン・カレッジに学び、イェールで学位を取得した著者の、経験に根ざした教育論になっているのが、本書の強みである。

麻田氏がカールトンで受けた教育から学ぶべきは、学生評価の厳しさである。一編のレポートのために、十冊に及ぶ研究書を参考文献として「指定」する(つまり読ませる)勇気のある教師が日本にどれだけいるだろう？ ある学問上のテーゼの「当否を批判的に論ぜよ」という試験問題の解

答を、「青表紙で16ページ綴じの用紙帳」に書くためには、学生はどれほど勉強（暗記ではない）しなければならないことか。

リベラル・アーツが読むことと書くことを徹底的に修練する場であることは、通常のレポートや試験の他に、ターム・ペーパーが課されていることにもよく表れている。学生は、前期・後期のいずれかに、自分の選んだテーマについて、「ダブル・スペースで22～23枚程度」の論文を提出する。カールトンの教師は、「参考にすべき文献について」、ひとりひとりの学生を指導している。

カールトンやイエールの教育を、日本にそのまま輸入できるとは思わない。麻田氏も、そんな主張はしていない。しかし麻田氏は、アメリカの知的風土がどのような教育に支えられているのかを、読者に具体的に提示している。自分が受けた教育をこれほど感謝の念をこめて語る卒業生がいることは、カールトンの誇りであろう。教育の原点は、教える者と教わる者とが「知的冒険心」を共有することにある、そのことを、本書は再確認させてくれる。一読に値する著作である。

(なかがわ・かずしげ 語学〔ドイツ語〕教室准教授)

## 想像力が膨らむ読書

高橋裕美

私は、小学生の頃からファンタジーや冒険物が大好きで、シリーズものなどは、はまりだすと夢中になって読んでいた。しかし、中学生になると勉強や部活動で忙しくなり、あまり本を読まなくなりました。高校生になっても読書を自ら進んですることはなく、学校の宿題の読書感想文のために読むぐらいであった。この頃は、読書をするよりも映画館で映画をよく観ていたと思う。そんな中ハリー・ポッターがブームとなり、私も映画で第一弾を観た。もともとこの手の物語が大好きだった私は、ハリー・ポッターに興味を持ち、第二弾は、本で読んでみることにした。久しぶりに読むには最初分厚く感じたが、読みだすと夢中になり、あっという間に読んでしまった。第一弾を映画で観たとき、もちろんおもしろかったが、第二弾を本で読んだ時には、映画で見た時にはなかった満足感や達成感、胸がいっぱいになる気持ちがあった。本は、映画のように映像がないため、常に自分で想像して読む必要がある。いろいろと想像をしていくうちに、自分だけの世界が出来上がっていき、私はその世界にどんどんと引きずり込まれていった。確かに、映画の方が作者のイメージ通りの世界が相手には伝わる。しかし、映画だと、想像する必要もなくてただありのままの映像を受け入れるだけになってしまうので、せっかくの想像力を育てる機会を失ってしまっていると思った。私はハリー・ポッターを読む中で、自分だけの想像の世界が出来上がっていき、とてもわくわくした。本を読まずに映画を観ている人は、この体験をしないととても勿体なく思う。また、これだけの物語が、たった2時間程度でまとめられてしまうということに対しても、勿体なく思った。映画には映画の良さがもちろんあるが、受身的である若者が多い現在、もっと本に触れて、受動的でなく、自ら考えて、想像を膨らませる機会を持つことを大切にしていけることが必要であると私は思った。

私は、自分が興味を持ったものしか読まないの、読むものの系統に偏りが生じてしまっている。この前読み終えた「博士の愛した数式」は、ファンタジー等が好きな私にはあまり興味が持てず、読んでは辞めて放置し、また最初から読むということを繰り返して、結局全部読み切るのに1年ほどかかったと思う。しかし、読み始めて後半の方は夢中になり読み、読み終わったあとは、ファンタジー等とは違って、いろいろ考えさせられたりするものがあつた。このとき、本の訴えかけるものの強さと、自分の世界観を広げる力を感じた。私は基本的にファンタジーや冒険物ばかり読んでい

るが、今後は、様々なジャンルを読むようにし、もっと本の世界に触れて、想像力や自分の考え、世界観を広げていく必要があると感じた。せっかくこんな身近に、自分の教養を育てるものがあると気付いたのだから、これからは、読書にどんどんチャレンジし、自分を磨いていきたいと思う。

(たかはし・ひろみ 看護専門学校3年)

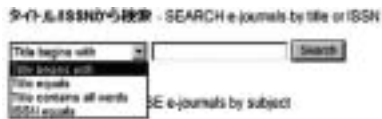
## 新しい「大阪医科大学図書館オンライン雑誌一覧」のサービスについて

E-Journal Portal サイト (Serials Solutions, Inc.) による大阪医科大学図書館オンライン雑誌一覧を構築中です。



今回導入したのは Serials Solutions (シリアルズ・ソリューションズ) 360Coreであり、電子ジャーナルポータルサイトとして、電子ジャーナルリストを提供する管理ツールです。雑誌名・ISSNによる検索が可能で、雑誌名による検索はフルスペルからの検索と略称からの検索ができ、また雑誌名の前方向一致での検索も出来ます。分野別に雑誌リストも表示されます。例えば、「Coronary Artery Disease」というタイトルの電子ジャーナルを見たい場合、

- ・「C」のリストから探す
  - ・雑誌名「Coronary artery disease」で検索する
  - ・略称「Coron artery dis」で検索する
  - ・雑誌名のうち「Coronary artery」まで入れて検索する
  - ・ISSN「0954-6928」で検索
  - ・分野Health & Biological Sciences ->Cardiovascular Diseasesから探す
- これら5つの方法から探し出すことができます。



雑誌名で探す場合初期値は前方一致で探すようになっています。プルダウンメニューで、雑誌名のフルタイトルで探す、入力した語句を含むものを探す、ISSNから探すを選択できます。

分野から探す場合は以下のカテゴリーに分かれています。太字はカテゴリー見出しです。

### **Biology**

Biology - General  
Biophysics  
Cytology  
Evolution  
Genetics  
Microbiology & Immunology  
Microscopy  
Biomedical Engineering

### **Dentistry**

Dentistry - General  
Operative & Restorative Dentistry - Adult  
Oral Surgery  
Orthodontics  
Periodontics & Periodontal Prosthesis  
Prosthodontics  
Diet & Clinical Nutrition

### **Human Anatomy & Physiology**

Anatomy  
Animal Biochemistry  
Neuroscience  
Physiology

### **Medicine**


Alternative Medicine  
Cardiovascular Diseases  
Clinical Endocrinology  
Clinical Immunology  
Connective Tissue Diseases  
Dermatology  
Diseases by Body Region  
Emergency Medicine  
Gastroenterology  
Geriatrics  
Gynecology & Obstetrics  
Hematologic Diseases  
History of Medicine  
Industrial Medicine  
Infectious Diseases  
Internal Medicine  
Medical & Biomedical Informatics  
Medical Education

Medical Ethics & Philosophy  
Medical Professional Practice  
Medical Research  
Medical Technology  
Medicine - General  
Metabolic & Nutritional Diseases  
Military & Naval Medicine  
Musculoskeletal System Diseases  
Neurology  
Oncology  
Ophthalmology & Optometry  
Otorhinolaryngology  
Palliative Care  
Pathology  
Pediatrics  
Radiology, MRI, Ultrasonography & Medical Physics  
Respiratory System Diseases  
Sports Medicine  
Tropical & Arctic Medicine  
Urology & Nephrology  
Nursing  
Occupational Therapy & Rehabilitation  
Pharmacy, Therapeutics, & Pharmacology  
Physical Therapy  
**Psychiatry**  
Clinical Psychology  
Psychiatric Disorders, Individual  
Psychiatry - General  
Psychoanalysis  
Psychosomatic Medicine  
Psychotherapy  
Sexual Problems  
Substance Abuse Disorders  
**Public Health**  
Adolescent & Adult Public Health  
Communicable Diseases  
Emergency Medical Services  
Environmental Health  
Epidemiology & Epidemics  
Ethnic Minorities & Public Health  
Foodborne Diseases

Gender Specific Public Health  
Government Health Agencies, U.S.  
Home Health Care Services  
Hospitals & Medical Centers  
Legal & Forensic Medicine  
Long-Term Care Facilities  
Medical Care Plans  
Medical Economics  
Medical Statistics  
Mental Illness Prevention  
Public Health-General  
Regulation of Health Care  
Social Medicine  
Toxicology & Public Health  
Transmission of Disease  
World Health

**Surgery & Anesthesiology**  
Anesthesiology  
Plastic Surgery  
Prosthesis & Artificial Organs  
Surgery-General and By Type  
Transplantation of Organs & Tissues  
Wounds & Injuries  
Veterinary Medicine  
**Zoology**  
Animal Anatomy & Embryology  
Animal Behavior  
Animal Geography  
Invertebrates & Protozoa  
Vertebrates  
Zoology-General

使用時の注意点としては、分野別リストは機械的に分野を分けているため必ずしも正確ではないこと。またタイトル中の the や of などの単語が stopword になっていないため、リストで探す際には配列順に注意が必要です。日本語タイトルについては頭文字が漢字のタイトルは、五十音順やアルファベット順には並んでおらず、文字コード順に並んでいことも注意が必要です。

図書館ホームページ「4.  オンラインジャーナル」の中に「新しい大阪医科大学図書館オンライン雑誌一覧」への入口がありますのでご利用ください。

## 本学教職員著作寄贈

(平成20年12月～平成21年4月分)

勝岡 洋治 先生 (泌尿器科学) 寄贈日：2008年12月25日

表在性膀胱癌の治療：CD-ROM／Andreas Bohle 作成；勝岡洋治日本語版監修 2003 日本化薬

An Atlas of prostatic diseases／Roger S. Kirby [原著]；小川 修 [ほか] 日本語版監修 3rd ed. 日本語 2007-2008 株式会社メディアアート

The Virtual Prostate：CD-ROM／ジョージ・ワシントン大学メディカルセンター作成；勝岡洋治日本語版監修 2004 ヘスコインターナショナル

The Virtual Prostate 疾患別プレゼンテーション：CD-ROM／ジョージ・ワシントン大学メディカルセンター作成；勝岡洋治日本語版監修 2005 ヘスコインターナショナル

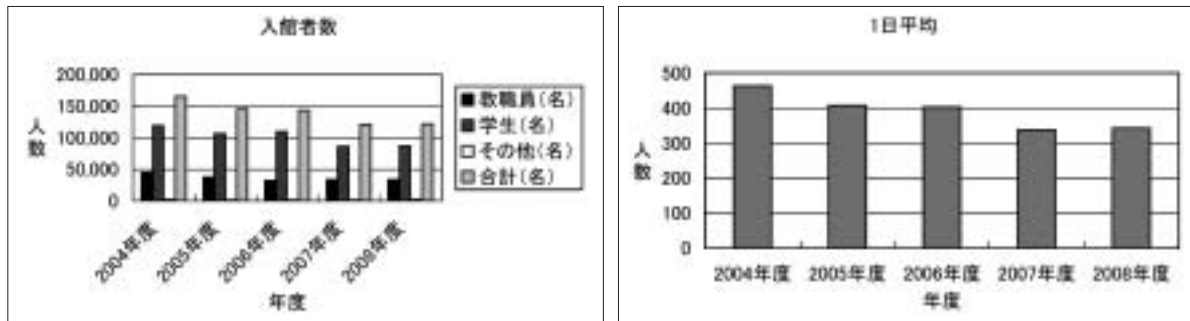
小林 正直 先生 (救急医療部) 寄贈日：2008年10月31日

ヨーロッパ救急蘇生「ERC-ILS」テキスト／Resuscitation Council (UK) 編；秋富慎司、富岡譲二、小林正直監訳；山岡 修 [ほか] 訳 2008.12 へるす出版

## 図書館利用状況

(2004年度～2008年度の推移)

### 1. 入館者数

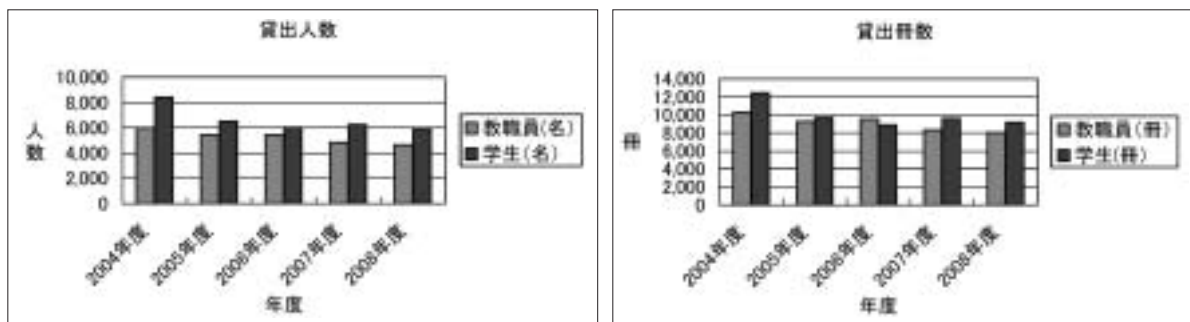


	教職員(名)	学 生(名)	その他(名)	合 計(名)	1日平均(名)
2004年度	45,052	118,772	1,723	165,547	464
2005年度	37,433	106,514	1,238	145,185	408
2006年度	32,330	109,837	1,291	143,458	403
2007年度	33,175	86,591	1,353	121,119	338
2008年度	33,279	86,848	1,894	122,021	343

入館者数計測システムが計測した入館者数の5年間の推移です。

減少の一途をたどっていた入館者数ですが、今年度はわずかな増加がありました。しかし、情報のオンライン化により、文献検索や資料の閲覧のために図書館に足を運ぶ必要が減ってきたこと、また、PA会館など学生が自習できる施設が他にできたこともあり、今後は入館者数の大幅な増加はなく、このような数字で推移するものと思われます。

### 2. 貸し出し

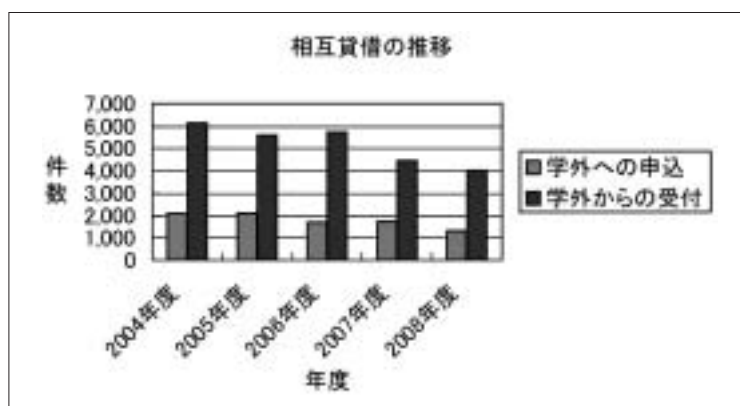


	教職員(名)	教職員(冊)	学 生(名)	学 生(冊)
2004年度	5,992	10,278	8,439	12,478
2005年度	5,458	9,282	6,532	9,698
2006年度	5,438	9,532	6,004	8,895
2007年度	4,860	8,332	6,245	9,591
2008年度	4,653	8,063	5,939	9,175

上の数字には出していませんが、洋雑誌の貸し出しが大きく減って、図書の利用が少し増えました。

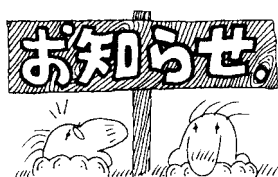


### 3. 相互貸借



	学外への申込件数	学外からの受付件数
2004年度	2,074	6,135
2005年度	2,108	5,579
2006年度	1,689	5,718
2007年度	1,716	4,439
2008年度	1,313	4,001

申し込み、受け付けとも減少しています。これは全国的な傾向で、これも雑誌の購読形態が変化していることの現れのようにです。



#### 1. 借り出し資料の返却期限を守ってください

返却期限に遅れると、その日数分、次の貸し出しができません。期限日は資料の最後にある返却期限票に押印していますので、確認してください。

#### 2. 図書館内は飲食禁止です

飲食物は持ち込まないでください。

#### 3. 忘れ物に注意

最近図書館内での忘れ物が急増しております。館内でのUSBメモリーなどの個人情報が含まれた媒体の取扱は慎重に行い、十分な自己管理をお願いいたします。

## 看護学部設置に伴う図書資料整備計画について

平成22年4月の看護学部の開設に向けて、これまでの看護専門学校図書室で蓄積された資料に加え、大学看護学部としての図書資料を整備するため以下のとおり計画しておりますのでお知らせいたします。

なお図書館では新たな予算措置として、看護学部開設前年度に1,000万円、以後経常的に毎年500万円を配分予定であります。

分野	平成21年度			平成22年度		
	内国	外国	合計	内国	外国	合計
	数量	数量	数量	数量	数量	数量
図書	910冊	150冊	1,060冊	320冊	80冊	400冊
学術雑誌	20種	10種	30種	20種	10種	30種
データベース	0種	1種	1種	0種	1種	1種
視聴覚資料	30点	0点	30点	5点	0点	5点

平成23年度			平成24年度		
内国	外国	合計	内国	外国	合計
数量	数量	数量	数量	数量	数量
340冊	70冊	410冊	230冊	40冊	270冊
20種	10種	30種	160種	15種	175種
0種	1種	1種	0種	1種	1種
3点	0点	3点	3点	0点	3点

### 購読予定学術雑誌一覧

タイトル	出版社
Clinical Nursing Research	Sage Publications Ltd.
Evidence-Based Nursing	BMJ Publishing Group
Geriatric Nursing	Mosby, Inc.
Home Healthcare Nurse (incorporating : Nephrology Nurse)	Lippincott Williams & Wilkins, a Wolters Kluwer Co
Journal of American Psychiatric Nurses Association	Sage Publications Ltd.
Journal of Community Health Nursing	Taylor & Francis Limited
Journal of Family Nursing	Sage Publications Ltd.
Journal of Holistic Nursing	Sage Publications Ltd.
Journal of Pediatric Nursing	W.B. Saunders Co.
日本在宅ケア学会誌	ワールドプランニング
公衆衛生情報	新企画出版社
日本看護学会論文集	日本看護協会出版会
家族看護学研究	日本家族看護学会
地域リハビリテーション	三輪書店

## 電子ジャーナルで整備予定のタイトル

タイトル	出版社
Clinical Nursing Research	Sage Publications Ltd.
Journal of American Psychiatric Nurses Association	Sage Publications Ltd.
Journal of Community Health Nursing	Taylor & Francis Limited
Journal of Family Nursing	Sage Publications Ltd.
Journal of Holistic Nursing	Sage Publications Ltd.

## 図書館業務日誌

平成21年 1月

- 23日（金）ブリチン編集委員会・懇談会  
（於、たかつき京都ホテル）
- 26日（月）図書館合同運営委員会・PDC  
A委員会（於、図書館館長室）  
図書館将来計画実施委員会（於、  
図書館館長室）

2月

- 23日（月）図書館合同運営委員会・PDC  
A委員会（於、図書館館長室）

3月

- 6日（金）タイマヒドン大学図書館見学

4月

- 10日（金）医学部新生図書館オリエンテーション（於、講義実習棟）
- 14日（火）看護専門学校新生図書館オリエンテーション（於、看護専門学校および図書館）
- 18日（土）日本看護図書館協会総会 館員参加（於、神戸市看護大学）

24日（金）・27日（月）

- 看護専門学校新生図書館利用演習（於、看護専門学校および図書館）

27日（月）図書館合同運営委員会・PDC  
A委員会（於、図書館館長室）

5月

11日（月）日本医学図書館協会近畿地区例会 館員参加（於、関西医科大学）

14日（木）日本看護図書館協会教育・研修委員会館員参加（於、大阪医科大学）

25日（月）図書館合同運営委員会・PDC  
A委員会（於、図書館館長室）

6月

22日（月）図書館合同運営委員会・PDC  
A委員会（於、図書館館長室）

## 編 集 後 記

平成22年4月、大阪医科大学に看護学部看護学科が開設される予定です。本年5月末に文部科学省への設置申請が終わりました。順調に行けば本年10月には認可が下りることになります。

昭和5年の看護婦学校の設置以来80年を経て、本学の看護教育は看護専門学校から大学4年制に移ることになりました。その間、約4,000人を超える看護師を輩出しその多くが医療を中心とした現場で活躍しています。

看護学部では、生命の尊厳と人権の尊重を基本に、人々の健康問題の解決に向けて、柔軟な思考力や幅広い知識と視野を持ち、保健・医療・福祉を統合した看護実践能力を育成することを目標としています。

来年4月から図書館は、医学部と看護専門学校に加えて「看護学部図書館」としても図書資料を充実させ、教育・研究の拠点となるべく発展していかなくてはなりません。

利用者のご理解とご協力をお願いいたします。

図書館では皆様の投稿記事を歓迎いたします。OMNIBUS に対するご意見もお寄せ願います。

(門田)

OMNIBUS「大阪医科大学図書館報／大阪医科大学附属看護専門学校図書室報」

No.35号 2009年6月19日 発行

編集・発行 大阪医科大学図書館

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL (072) 683-1221

(内線2799, 2621)

印刷 大日本印刷株式会社